



るもい風土資産カード

旧増毛駅前 の歴史的 建物群と 旧増毛 小学校

増毛の歴史を今に伝える
明治から昭和初期の木造建築群

増毛の町内には、あちこちに明治から昭和初期に建てられた木造建築が残っており、その時代にタイムスリップしたような不思議な感覚が味わえます。とくに旧増毛駅を起点とする通称「ふるさと歴史通り」には味わい深い建物が数多く点在しています。

増毛町は大正期に、港湾、鉄道の整備が進められ、交通の要衝として栄えました。特にニシン漁の最盛期には貨物輸送の拠点として賑わいましたが、これらの建物は、その恩恵にあずかった商家、旅館、店舗、造り酒屋、住宅などで、当時の栄華の様子がうかがえます。中でも、明治時代に「天塩国随一の豪商」と称された「旧商家丸一本間家」は、ひと際豪壮なたたずまいを今に伝えていきます。

また、同じ本間家が明治期に創業した「國稀酒造」の建物は、明治15年(1882年)の創業時から10年かけて完成した木造と軟石造りの3階建てで、工場と酒蔵は当時のまま受け継がれています。さらに、日本海を見下ろす高台に建つ旧増毛小学校は昭和11年(1936年)の建築物で、2階建て校舎と体育館は、道内最大規模の木造校舎として、平成24年(2012年)3月まで使用され、現在はイベント時などに内部公開されています。

他にも「駅(STATION)」のロケ地となった「風待食堂(現・観光案内所)」、昭和8年建築で木造3階建ての「旧富田屋旅館」。昭和7年建築の現役旅館「増毛館」などが歴史的街並みを形成しており、こうした歴史的建物群と旧増毛小学校は、平成13年(2001年)に北海道遺産に選定されました。

見どころ

「旧商家丸一本間家」の建物内には花瓶や食器など当時の生活用品が展示してあります。國稀酒造の倉庫にはニシン漁に使われた船も展示しています。

ポイント

旧増毛駅前周辺は明治期から昭和初期に建てられた建造物が立ち並び、レトロな雰囲気が味わえます。平成13年(2001年)には駅前通、商家、造り酒屋、旅館と旧増毛小学校の建物全体が、北海道遺産に選定されています。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



鱈漁で栄えた明治・昭和初期頃の栄華は、旧増毛駅前周辺の旅館、店舗、造り酒屋、住宅などの建築物に今も垣間見ることができます。豪勢な佇まいの建築物に触れてみましょう。



歴史的建造物群の並ぶ街並みを歩くと、國稀酒造からただよう豊かな地酒の香り、古い建造物独特の刻み込まれた歴史を感じる香りなど感じることができます。



昭和11年に建てられた旧増毛小学校の校舎は、現存する木造校舎としては道内最大規模。原風景的な存在感で迫る木造の校舎は一見の価値あり。

■ 基本情報 (R7. 3)

【旧増毛駅前の歴史的建物群】

文化財指定：北海道遺産

指定年月日：平成13年10月22日

【旧増毛小学校】

住 所：増毛郡増毛町見晴町120

T E L：0164-53-2174